

<第248回例会>

観音崎から浦賀を歩く

日時:2019年10月6日(日) 天候:曇りのち晴れ 20000歩 約14Km

集合:京急馬堀海岸駅 9時45分 10時出発

コース:馬堀海岸駅→走水神社→観音崎ボードウォーク→観音崎灯台→たたら浜園地→東叶神社→浦賀の渡し(乗船)
→西叶神社→浦賀コミュニティーセンター→浦賀駅

参加者:畠(L) 山田(SL) 脇阪(SL) 班長=加納喜 赤須 村上

佐藤よ 勅使河原 吉越 平嶋 神谷 吉留 平石 熊坂 仲 高橋文 伊藤真 小野里 青松 奈良 小林 河野
伊藤美 小島 福士 平林勝 志村 大島 武倉 高山 長廣 滝川 高橋友 内海 吉田正 富矢 鹿島 原田
計38名

“女心と秋の空”と言われますが、元は“男心と秋の空”だった。江戸時代、当時は既婚女性の浮気は命を落とすほどの重罪でしたが、既婚男性の浮気には寛大だったこともあり、移り気なのはもっぱら男性だったとのことですが・・・今では逆？

この日は“男女”に関係なく朝から暗い空模様で北の強風、一時は雲の動きでポツリときたものの最後には青空になるという“秋の空”の諺通りの一日でした。馬堀海岸駅を出て向かった観音崎ボードウォークは、先の台風の影響で一部歩行禁止、逆から回って歩くことが出来ましたが、強風で波しぶきが飛んでくるほど。観音崎でも遊歩道際の大木が折れ曲がり、ここでも影響が未だに残っていました。東西の叶神社を結ぶ浦賀渡船の船長も、我々団体のためピストン輸送で大忙し。最後の組は定員オーバー黙認の特別サービスの上、スピードUPで“おもてなし”の粋な計らいを見せてくれました！(これ、内緒ですよ)浦賀コミュニティーセンターでは、黒船来航の歴史に残る浦賀奉行所や浦賀ドック等の資料をはじめ見どころ一杯でした。

今回のエリアは、過去にも同様の企画がありましたが、春夏秋冬いつ訪れても風光明媚な場所の一つと言えます。

<フォトレポート 小島>



<観音崎ボードウォークにて。“人生の荒波”を乗り越え、今は海から吹き付ける強風に耐えている参加者>



集合場所の馬堀海岸駅。ウマホリと読む人もいました。



“家出向き”の大型パック・・・何かあったのか？



駅を出て住宅街に行く。後方は横横道路が跨ぐ。



近くの公園で畠リーダーから本日のコース説明。



この日のストレッチは山田S.L。



身体が柔らかく良く伸びている。



厳しい“指導”に足腰が・・・！



馬堀海岸に出るといきなり強風が吹き付けた！



消波堤に打ち寄せる波で風の強さが分かる。



海風を受けながら海岸沿いを歩く。奥には猿島が。



この道は国道16号線。観音崎へと続く道です。



走水水源地のレンガ造り貯水池。



ここで“出来立て”の水を試飲。



水で腹を満たし？ さあ出発！



坂道をチャリダー達が上って行く。どちらが楽？



強風の中、釣り船も頑張っている。(狙いはタチウオか)



走水港。御所ヶ崎の風裏で波も静かです。



緑のオバサンならぬピンク帽のオジサン登場！



走水神社に到着です。13日には例大祭が行われる。



弟橘媛を偲んでこの階段を上り本殿へ向かう。



この地から日本武尊が弟橘媛と共に房総へ渡った。地元の志村さんから詳しい説明がありました。

記紀によれば：

日本武尊が相模においでになって、上総に渡ろうとされた。海を望まれて大言壮語して「こんな小さい海、飛び上ってでも渡ることができよう」と言われた。ところが海の中ほどまで来たとき、突然暴風が起こって御船は漂流して渡ることができなかった。そのとき皇子につき従っておられた妾があり名は弟橘媛という。穂積氏の忍山宿禰の女である。皇子に申されるのに、「いま風が起り波が荒れて御船は沈みそうです。これはきっと海神の仕業です。賤しい私めが皇子の身代りに海に入りましょう」と。そして、言い終るとすぐ波を押しわけ海におはいりになった。暴風はすぐに止み船は無事岸につけられた。



京急観音崎ホテルからボードウォークに出る予定が先の台風の影響で下りられず。結局逆方向から歩くことに。





夏なら家族連れで賑わった岩場も閑散としています。



観音崎には東京湾海上交通センターの塔が建っている。



観音崎灯台に到着。ここも風が強い。



入るか止めるか、それが問題なのだ！



<観音崎灯台を背に全員集合。この先は有料施設となるので結局入らず。それで思わず笑顔に？>



遊歩道の回りには台風で折れた木々が残っていた。



たたら浜園地に到着。ここがランチタイム場所。



♪大きな栗の木の下で～♪ ではない、ヤシの木の下でランチタイムの一团。トビ除けの効果も有るの？



ご要望により撮らせて頂きました。(両手に花！)



ここは定番ポーズが決まっています。(そりすぎでは?)



こちらは男性ご法度の女の園！（勇気が有れば入れる？）



こちらは女性大歓迎の男の園？ だが誰も来ない・・・



園内に咲いていたハイビスカス。



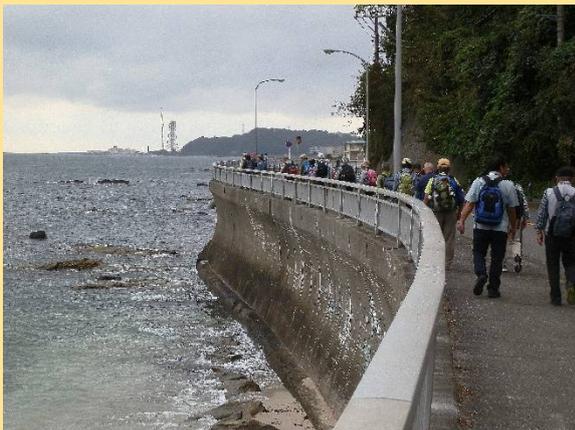
こちらは黄色でした。（初めて見た）



出発前に吉越会長から集中ウォークの説明あり。



人気のないタタラ浜。晴天ならばもっと綺麗だが。



浦賀に向けスタート。遙か先は久里浜。



沖には黒船ならぬ白船？単なる帆船でした。



観音崎大橋を渡る。橋の実感なし。



山側には蔵のある屋敷が。



その横にはカラフルな家が3軒。



この風景、何となく南国風？・・・浜辺でのんびりとしていた気分になります！



鴨居港を望む八幡神社の大鳥居。



反対側の境内にも小さな鳥居が。



海側の葉が枯れている大銀杏。



接骨院があった。何かと安心ですね？



鴨居港の隣には波の静かな大室港がある。



東叶神社に着きました。KWCお馴染みの場所です。



元気な人は奥の院まで上がったようです。(かなりキツイ)



拝殿の注連縄。趣がありますね。



海から続く参道。位置が良く分かる。



上らない人は下での待機組。



この浦賀渡船。市の管轄で乗船料は200円。



乗ったら船内で直接現金払い。(パイパイ等は不可!)



船内はなんとなく遠足気分。最後の組の便は船長の気合でスピードUP! すぐ着いた。(反則金大丈夫?)





“航海”を終えて対岸に上陸！（そんな大事でもない？）



向かうのは西叶神社。これで東西制覇したこと！



いつもお賽銭をたっぷり。（でもアフター代は残してある？）



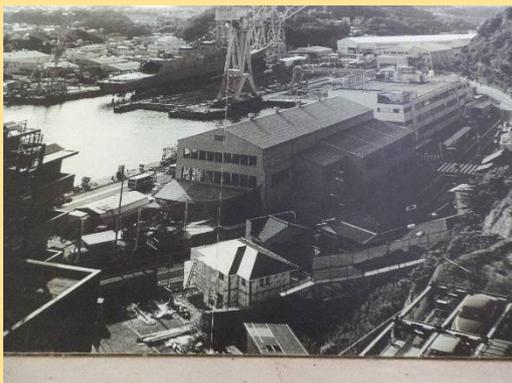
参拝を終えて帰路に。青空が広がっています。



いつの間に来たのか綺麗な遊歩道。



最後は浦賀コミュニティセンターを見学。



館内には浦賀ドッグの古写真も。



浦賀奉行所があった！（中は展示館）



黒船の「サスケハナ号」※佐助&花ではありません！



こちらは太平洋を渡った「咸臨丸」(勝海舟も乗った)



センター前の公園で山田さんのクールダウンで締め！



電線が地中化された浦賀のメインストリート。



駅を目の前にして足取りも軽くなった皆さん。



駅下で解散。距離はやや伸びたが快適なコースでした！

<今日の一言>

海が近いせいか朝から強風で、帽子が飛ばされ毛が9本ほど無くなったようです！(初めから無かった?) 確かに・・・
久しぶりに潮風を浴びて生き返った様な気分、やはり海は良いですね～ 長年にわたり大津から馬堀海岸沖の海でボート釣りをやっていたもので、この海を見ているだけで心がときめきました。意外だったのは、以前に比べ浦賀の駅前通りが綺麗になったことです。これなら黒船が来航しても、驚いてUターンするのでは? ※リーダー&SLの皆さんお世話様でした。

END